

九州体育・スポーツ学会第63回大会 大会要項

1. 名 称：九州体育・スポーツ学会 第63回大会
2. 主 催：九州体育・スポーツ学会
3. 主 管：大分大学
4. 後 援：大分県教育委員会
5. 期 日：平成26年9月12日（金）～14日（日）
6. 会 場：別府大学 〒874-8501 別府市北石垣82
7. 学会ホームページ及び第63回大会専用メールアドレス：

学会ホームページ <http://webpages.ihs.kyushu-u.ac.jp/ktsm/>
 第63回大会専用E-mail mokauchi@oita-u.ac.jp

8. 日 程：

9月12日（金）（前日）	
13:00～ 16:00～18:00	九州地区大学体育連合同企画，第3専門分科会企画，プレセミナー，学生企画委員会企画 総務委員会

9月13日（土）（1日目）	
8:30～	受付
8:30～ 9:40	理事会
10:00～12:00	一般研究発表（口頭発表） ※若手優秀発表賞申請者発表枠を含む
12:00～13:10	昼休み・会議（若手優秀発表賞選考委員会→総務委員会→理事会）
13:10～14:40	特別講演
14:45～16:45	全体シンポジウム
16:50～17:50	総会
18:50～20:50	情報交換会

9月14日（日）（2日目）	
8:30～	受付
9:00～10:00	研究推進委員会企画セッション，トピックセッション①②，スチューデント・セッション
10:10～12:10	第1・3専門分科会シンポジウム（分科会総会含む） 第2・4・5専門分科会一般研究発表（口頭発表）
12:10～13:00	昼休み ※ポスター掲示
13:00～15:00	第2・4・5専門分科会シンポジウム（分科会総会含む） 第1・3専門分科会一般研究発表（口頭発表）
15:00～16:00	ポスター発表，ラウンドテーブル・ディスカッション，トピックセッション③
16:00	学会大会終了

※講演，シンポジウム，各セッション等の概要は文末に記載しています。

9. 大会参加申し込み：

- 1) 申し込み締め切り日

平成26年6月23日（月）

2) 大会参加申し込み方法

本学会HPに掲載されている「九州体育・スポーツ学会第63回大会参加申し込みフォーム」から申し込みしてください。

大会参加申し込みフォーム

URL : https://ssl.dousou.info/k_sports_form/form01.html

3) 大会参加費および情報交換会費

大会参加費（事前申し込み会員3,500円）、情報交換会費（事前申し込み会員5,000円）の納入は、下記口座にお振り込みください。なお、送金に関する手数料は、各自ご負担ください。

今年は、事前申し込み（6月23日まで）とそれ以後での参加費、情報交換会費とも料金が異なっていますので、12の会費一覧（p4）をご参照ください。

※振り込みに関する重要なお知らせ

振り込みにつきましては、一人ひとりで振り込んでください。複数人数分をまとめて振り込むことは絶対にしないでください。事務が大変煩雑になります。

【大会実行委員会専用銀行口座】

銀 行：大分銀行 支 店：光吉
種 類：普通 口座番号：7503961
名 義：第63回九州体育・スポーツ学会実行委員会 会計 田端 真弓

10. 一般研究発表申し込み手続きおよび申し合わせ事項：

保健体育・スポーツに関する研究であって、未発表の研究で完結しているものとします。口頭発表およびポスター発表において筆頭演者としての登壇は、個人研究、共同研究を問わず1人1回に限ります。なお、発表申し込みは、「九州体育・スポーツ学会第63回大会参加および発表申込フォーム」からの申し込みに限ります。

1) 研究発表申し込み資格

演者、共同研究者（当日参加しない者も含む）とも下記①②の会員で第63回大会参加費を収めた者とする。但し、①②の会員以外の研究者を特別共同研究者として発表者に加える必要がある場合は、「特別共同発表者登録」が必要となります。

①平成26年度九州体育・スポーツ学会年会費を納入済または日本体育学会会費を自動引落しにより納入する会員

②上記以外で会費を納入される会員

自動引き落としの手続きをしていない本年度会費が未納の方は、年会費 5,000 円（学生年会費 2,500 円）を 4 月 30 日までに学会事務局口座に納付して下さい。大会実行委員会に振り込まないように気をつけて下さい。

学会事務局口座 郵便振替番号：17060-16499461 加入者名：九州体育・スポーツ学会
他行からの振り込みは

ゆうちょ銀行 口座名：九州体育・スポーツ学会事務局 店番：708

預金種目：普通預金 口座番号：1649946

③九州以外の日本体育学会地域（支部）会員

全国地域（支部）交流企画として第61～63回大会のみの限定となっております。

なお、機関誌『九州体育・スポーツ学研究』を購入希望の方は、別途2,000円（送料込）を上記学会事務局に納入してください。

2) 申し込み締め切り

平成26年6月23日（月）

3) 特別共同発表者

- ・発表において必要のある場合、本学会員以外の外国人あるいは他の分野の研究者を共同発表者に加えることができます。以下の手続きにより、特別共同発表者の登録を行ってください。
- ・「九州体育・スポーツ学会第63回大会参加申し込みフォーム」（下記URL）から申し込みください（「特別共同発表者の有無」の選択及び「特別共同発表者名ならびに所属先」へのご記入をお願いします）。
- ・学会大会参加費3,500円を6月23日(月)までに大会実行委員会専用銀行口座にお振り込みください。
なお、送金に関する手数料はご負担ください。

URL : https://ssl.dousou.info/k_sports_form/form01.html

4) 発表申し込み方法

- ①大会号原稿：「九州体育・スポーツ学会第63回大会一般研究発表申し込みフォーム」を用い、投稿してください。なお、若手優秀発表者の申請を行う場合は、下記申し込みフォーム中の「若手優秀発表への申請」欄をクリックしてください。

URL : https://ssl.dousou.info/k_sports_form/form02.html

- ②機関誌抄録原稿：発表演者は、抄録原稿を機関誌抄録作成要領に従い作成し、大会前の9月11日（木）までに学会事務局（担当：田原亮二）に下記アドレス宛にPDFファイルをメール添付で送信してください。

学会事務局 E-mail : kyutai.office@gmail.com

- ③若手優秀発表賞：35歳未満（1979年4月2日以降生まれ）の会員で希望される方は、機関誌抄録作成要領に従い抄録原稿を作成し、発表申込み時（6月23日まで）に上記の学会事務局アドレス宛にメール添付で提出してください。

5) 発表方法

①口頭発表（オーラル・セッション）

1演題につき発表12分、質疑応答5分の計17分です。ただし、第3専門分科会の発表は、1演題につき発表15分、質疑応答5分の計20分になります。

- 会場にパソコンとプロジェクターを用意します。個人のパソコンは使用できません。
- 使用するパソコンのOSは、Windows 7 または Windows 8です。
- 使用するパソコンのOfficeは、Microsoft Office2013（Power Point 2013）です。
- 発表データファイルは、USBメモリーにてご持参ください。
- 各自、必ずデータファイルのウイルスチェックを行ってください。

②ポスター発表（ポスター・セッション）

1演題につき90cm(横)×180cm(縦)のポスターパネルを用意します。指定された時間までに指定された場所に掲示してください（掲示用のピンは実行委員会で準備します）。

- i. 発表者は、指定する時間帯に各自のポスターの前に立ち、参加者と討論してください。
- ii. ポスターの撤去は、所定の時間に行ってください。撤去時間を過ぎても残っている場合には実行委員会にて撤去・廃棄いたしますのでご了承ください。

③大学院生発表（スチューデントセッション）

大学院生による企画で、ミニシンポジウム形式です。

6) 発表取り消し・変更

平成26年6月30日（月）までに、第63回大会専用E-mailにてご連絡ください。

11. 情報交換会：

学会員相互の交流を深めるための情報交換会を開催いたします。「九州体育・スポーツ学会第63回大会参加申込フォーム」または当日お申し込みください。

- 1) 会場：別府亀の井ホテル（18：50～20：50）
- 2) 会費：会員事前申し込み（6月23日以前） 5,000円， 6月24日～当日 5,500円
学生会員申し込み（6月23日以前） 4,000円， 6月24日～当日 4,500円

12. 会費一覧および大会までのスケジュール：

1) 会費一覧

事項		金額
事前申し込み (6月23日まで)	参加費	一般会員・学生会員 3,500円
	情報交換会	一般会員 5,000円
		学生会員 4,000円
当日 (6月24日以降)	参加費	一般会員 4,000円
		学生会員 3,500円
		会員外 1,000円
	情報交換会	一般会員 5,500円
		学生会員 4,500円
特別共同発表者参加費		3,500円

※参加費・情報交換会費納入後にキャンセルされた場合は、返金いたしかねますのでご了承ください。

※振り込みにつきましては、一人ひとりで振り込んでください。複数人数分をまとめて振り込むことは絶対にしないでください。

※年度会費および入会手続きは、別途「九州体育・スポーツ学会事務局」にお願いします（p2参照）。

2) 大会までのスケジュール

事 項	締め切り日等
大会参加申し込み（特別共同研究者登録）	平成26年6月23日（月）
研究発表申し込み（大会号原稿の入稿）	平成26年6月23日（月）
大会参加費（事前申し込み）	平成26年6月23日（月）
発表取り消し・演者変更	平成26年6月30日（月）
機関誌抄録原稿（ファイル）	平成26年9月11日（木）

13. 派遣依頼書：派遣依頼書の必要な方は、本学会HPから依頼書をダウンロードしご利用ください。

14. 宿泊について：

1) 亀の井ホテル（情報交換会会場）特別プラン

ホテル名	亀の井ホテル別府店（〒874-0936大分県別府市中央町5-17）※情報交換会会場
連絡先	0977-22-3301
宿泊料金	9月13日（土） 税込1人6,480円（朝食付き・温泉有） ※この料金に情報交換会費は含まれておりません。
プラン名	宴会プラン（3名1部屋～6名1部屋）
予約方法	電話予約のみ（インターネットからは、このプランでの予約はできません） 担当者：遠島（とおじま） ※予約の際は、お手数ですが「 <u>担当者の遠島</u> 」にご連絡いただき、「九州体育・スポーツ学会の参加者である」ことをお伝えください。 ※各自で3名～6名のグループを集めて代表者をご予約ください（こちらでのグループ作成は致しかねます）。
予約締切日	8月20日（水）までに要予約。 ※期日前でも、部屋が無くなり次第、締め切らせていただく場合もございます。

2) 大分大学生協（oita-shop4@kyushu.seikyou.ne.jp）取扱ホテル

ホテル名	料金		別府駅からホテル	ホテルから別府大学	電話番号
	金曜日	土曜日			
ホテルサンバリー	5,800円	6,700円	車で10分	車で5分	0977-25-1171
ホテルサンバリーアネックス	7,080円	7,560円	車で10分	車で5分	0977-26-6555
西鉄リゾートイン別府	6,450円	6,750円	徒歩10分	車で10分	0977-26-5151
ホテルエール	6,600円	6,800円	徒歩 8分	車で10分	0977-21-7272
ホテルアーサー	7,180円	8,000円	徒歩 5分	車で15分	0977-25-2611
亀の井ホテル別府	6,800円	7,900円	徒歩 5分	車で15分	0977-22-3301

※すべてシングルで朝食付き料金です。

※大分大学生協が扱っていますので、希望者は oita-shop4@kyushu.seikyou.ne.jp (担当：衛藤) にメールで申し込みをしてください。「九州体育学会宿泊申し込み」と書いて、1案、2案まで記入してください。9月の別府は行楽シーズンに入り、大変混雑します。希望通りに取れないこともありますので、早めに申し込みをお願いいたします。

15. 交通について：別府大学へのアクセス方法

(1) JRの場合

JR日豊本線 「別府大学駅」下車 徒歩15分、タクシー3分。

JR日豊本線 「別府駅」下車 タクシー12分 (1,500円程度)。

※別府駅から別府大学駅までは1駅、4分で着きます。

(2) 自家用車の場合 (駐車場は大学内にありますが駐車台数に限りがあります)

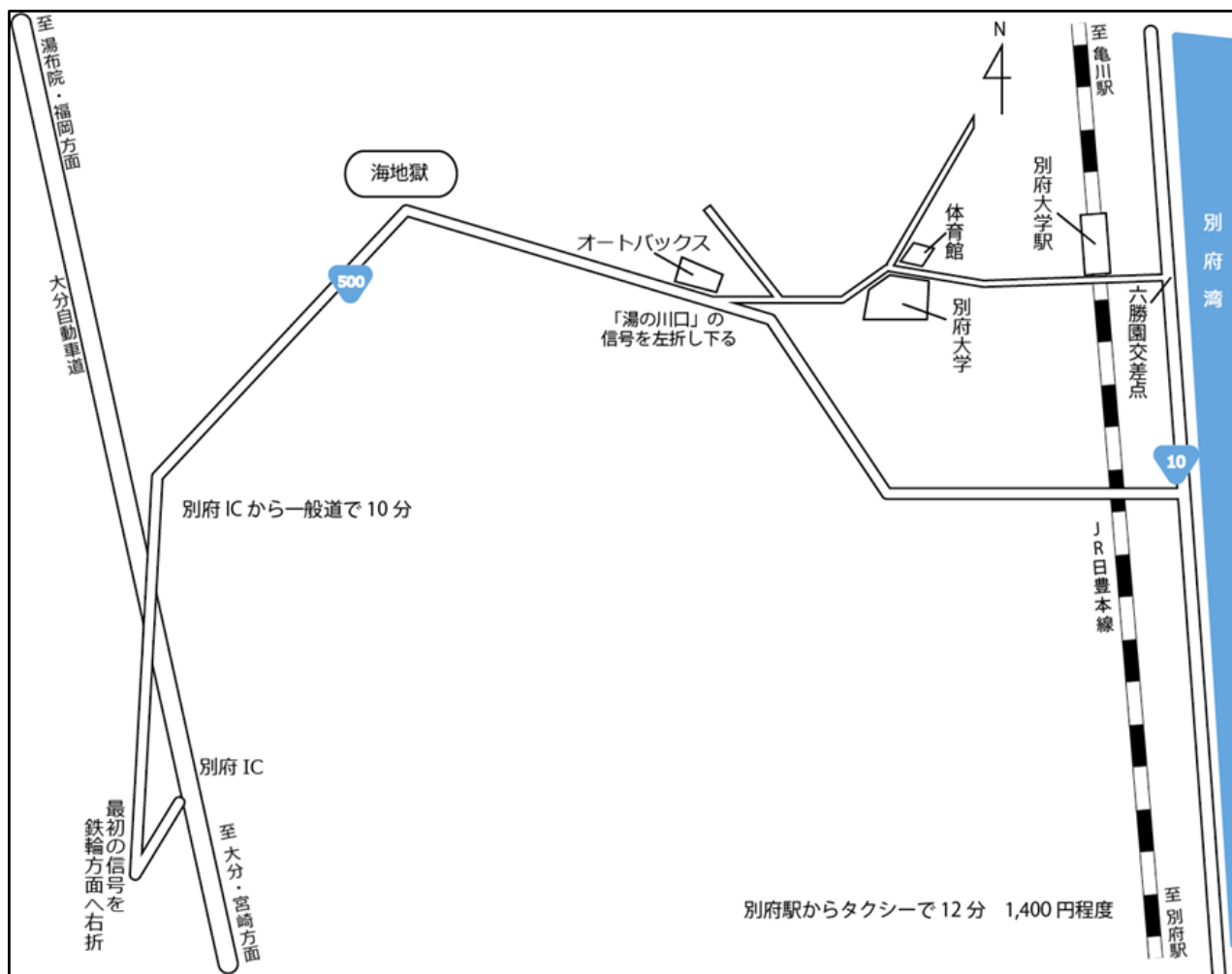
①大分自動車道からお越しの場合

別府ICで降り最初の信号を鉄輪方面へ右折後、九州横断道路を下る。

「湯の川口」の信号を左折し下る。

②国道10号線からお越しの場合

六勝園の信号を山側へ曲がる。



16. 昼食（620円）について：会場付近は飲食店はあまりありませんが、コンビニが徒歩圏内に2つあります。ご希望の方は、弁当の注文を事前に取ります。ウェブの申し込み欄から注文して、料金（620円）を事前に振り込んでください。

17. 託児所について：

委託先施設名	地域子育て支援センター「にじのひろば」
託児受入時間	9月13日（土）9:30～17:10, 9月14日（日）8:30～16:20
託児場所	別府大学幼児児童教育センター（予定）
申込締切	完全予約制 . 7月10日（木）までにお申し込み下さい. ※予約なしの当日受け付けは致しかねますのでご注意ください.
予約方法	別府大学の中山正剛（seigou@nm.beppu-u.ac.jp）まで、まずはご連絡ください. 詳細をお伝えします. ※人数やお子さんの状況によっては、ご希望に添えないこともございますのでご了承ください.

18. 大会実行委員会：

九州体育・スポーツ学会第63回大会実行委員会

〒870-1192

大分県大分市旦野原700 大分大学教養教育実験棟 前田寛 研究室(庶務担当)

TEL：(097)554-7720, FAX：(097)554-7720

E-mail：mokauchi@oita-u.ac.jp

19. 講演、シンポジウム、各セッション等の概要：

【特別講演】

テーマ	これからのオリンピック・ムーブメント —TOKYO2020に向けて— <仮>
講演者	真田 久（筑波大学体育専門学群長）

【全体シンポジウム】

テーマ	オリンピックの光と影 <仮>
シンポジスト	相原 豊（九州女子大学） ※バルセロナオリンピックメダリスト（体操競技） 檜崎 教子（福岡教育大学） ※シドニーオリンピックメダリスト（柔道）
コメンテーター	真田 久（筑波大学）
コーディネーター	則元 志郎（熊本大学）

【専門分科会シンポジウム】

[第1専門分科会]

テーマ	体育・スポーツと暴力・体罰<仮>
演者	根上 優
指定討論者	各領域研究者の2～3名（原理，歴史，経営・管理，心理，社会）
司会	伊藤 友記（九州共立大学）案
概要	体育・スポーツと暴力・体罰に関しては，多くの学会やシンポジウムで議論がなされてきている．本学会でも，会員の共通理解を深めるために，議論をすることは有益だと思われる．「なぜ，体育・スポーツにおいて暴力・体罰は起こるのか」「なぜ，無くならないのか」「無くするための具体的方法は？」など疑問はつきない．今回のシンポジウムでは，スポーツと暴力について，長年，研究されている根上先生に問題提起をしていただき，第1分科会の各領域の研究者のご意見を伺った上で，フロア全体で議論を深めたい．

[第2・第4（合同）専門分科会]

テーマ	体育・スポーツ活動中における事故とその対応<仮>
演者	現在，調整中．（2～3名程度）
企画・司会	第2専門分科会世話人・奥本 正（名桜大学） 第4専門分科会世話人・野田 耕（九州共立大学）
概要	平成24年度4月より実施されている新しい中学校学習指導要領では，中学1・2年次において「武道」が必修化され，すべての生徒が柔道や剣道，相撲等の種目に触れることになった．この「武道」の必修化の際にクローズアップされたのが，学校における「柔道事故」の実態であり，他の種目に比して事故の発生件数が多いことを理解するとともに，柔道に限らず指導者にとって体育・スポーツ活動中の事故やその対応（対策）について改めて考えさせられる話題であった．そこで今回の第2・第4分科会合同シンポジウムにおいては，体育・スポーツ活動中における事故発生の実態や要因，さらには，事故が発生した場合の対応（対策）などについて論議を展開したい．

[第3専門分科会]

テーマ	身体接触の教育的効果について
演者	高柳 茂美（九州大学），大分県中学校教員（予定）
司会	日高 正博（宮崎大学）
概要	種類の身体接触（ソフトタッチ，ハードタッチ）の持つ教育的な効果に着目して実践的に取り組まれている先生方にご登壇いただき，その効果の具体や実感を発表していただきます．その後はフロアの先生方も交えて意見交換したいと考えている．

[第5専門分科会]

テーマ	2020年東京オリンピックに向けた選手強化について
シンポジスト	トップ経験のアスリート・コーチ等
司会	第5専門分科会世話人・池上 寿伸（佐賀大学）
概要	2020年オリンピック・パラリンピック開催地が東京に決定している．開催を6年後に控え，日本オリンピック委員会（JOC）や独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC），各国内競技連盟（NF）等をはじめとした選手育成強化プ

	<p>プロジェクトやマルチサポート事業等が実施されている。強化の目標は、日本選手団の五輪における全競技入賞・メダル獲得数3位という（JOC決定）。そのために国際競技力アップを念頭に置き、強化・育成・支援を行うわけである。しかし、6年後にトップアスリートに到達するターゲットエイジは実質上、現在の高校選手から一般・大学生までを含む年齢層になってくる。まさに中期計画としてのトップ選手の強化育成期間になると思われる。中期目標達成には、アクションプランをたてることにより「いつまでに」「何を」「どうするか」を決定し、年間や短期シーズン毎の進捗を把握することにより、目標達成までのプロセスを明確にしていくことが必要になってくると思われる。今回の第5分科会シンポジウムにおいては、ジュニア期の選手がトップ選手に成就していくのに必要となる重点要素と選手のサポート体制について、アスリートとトップの指導経験を持つコーチの方々をシンポジストとしてお迎えし、最新の情報を交えながらシンポジウムを進めていく。</p>
--	--

【トピックセッション】

テーマ①	厚生労働省認知症予防のための戦略研究：認知症を予防する運動仮説の検証
演者	田中 喜代次（筑波大学人間総合科学研究科）
演者	檜崎 兼司（九州大学大学院人間環境学府博士課程）
企画・司会	熊谷 秋三（九州大学）
概要	<p>本トピックセッションでは、健康寿命を延ばすための戦略として、運動による認知症予防に焦点を絞って話題提供する。厚生労働省は、認知症発症に運動が抑制的に作用する可能性が高いことから、厚生労働科学特別研究事業「認知症予防のための戦略研究」の遂行に着手し出した。この戦略研究の検討部会で我々が鋭意議論し、ようやく運動介入の本格的始動に向けて準備を整えてきた。今後、約1年間の長期の運動介入研究と長期（3年間）の追跡調査を通して、この「運動仮説を検証」する予定である。</p>

テーマ②	大学体育授業の「その後」を考える—授業外の取り組みを中心に—
企画・演者	中山 正剛（別府大学短期大学部）
演者	田原 亮二（名桜大学）
演者	瀬尾 賢一郎（福岡大学）
コメンテーター	橋本 公雄（熊本学園大学）
概要	<p>大学体育の授業は1年次に実施されることが多いことから、受講し終えた2年生以降への影響に関する研究事例を紹介する。さらに、体育授業の時間外で、運動・スポーツを提供している実践例を紹介するとともに、体育授業との繋がりやその可能性についてフロアも交えて議論する。</p>

テーマ③	幼児教育と小学校教育の内容に関する「接続研究」の方法を探る—ボールゲームと鬼遊びの接続を例に—
企画・演者	西谷 憲明（鹿児島国際大学）
コメンテーター	西迫 貴美代（鹿児島県立短期大学）
司会	海野 勇三（山口大学）
概要	<p>就学前教育と小学校教育との「接続問題」に焦点を当てた研究を一つの課題として取り組んでいる。演者は、年齢別に配置された鬼遊びの著書の分析から概念的視点を抽出し、その実験的実践を実施した。しかし、この実践を付属幼稚</p>

	園で実現するには、いくつかの難しい諸条件をクリアしながらの実践となった。今回の実験的実践は、幼稚園教諭免許・保育士資格必須科目「保育指導法(健康)」の授業への幼稚園児の参加を契機として誕生した「赤ずきんと狼ゲーム」実践の取り組みを中心に報告する。
--	---

【ラウンドテーブル・ディスカッション】

テーマ	自己成長を促す大学体育実技授業を考える
演者	谷本 英彰 (東亜大学) 体育実技授業におけるささやかな自己成長
	藤原 大樹 (保健医療経営大学) レジリエンス向上を図る体育実技授業の場の設定
	山本 浩二 (北九州市立大学) 社会性を高める体育実技—高大連携の視点から—
コーディネーター・司会	内田 若希 (九州大学)
概要	(設定趣旨) 大学体育実技授業の目的の一つに自己成長の促進をあげることも可能であろう。しかし、そのための授業プログラムは提示されていない。自己成長を促すためには、チャレンジングな目標を設定し、その達成に向けて努力させる過程が必要と考えられる。本トピックセッションでは、自己成長をどのように捉えるか、体育実技授業でどのような場の設定を行えば、ささやかな自己成長が図れるかについて論議したい。

【スチューデント・セッション】

テーマ	東京オリンピック～スポーツと社会の関係性を考える～
演者	未定
司会	未定
企画者	林田 賢朗・学生企画委員会代表 (熊本大学大学院)
概要	2020年東京オリンピックの決定に鑑み、専門課程の学生・院生等を含む若手研究者がオリンピックにどのようにして関わられるかについて、スポーツと社会の関係性に着目して議論していきたい。

【プレセミナーおよび前日企画】

①プレセミナー	
テーマ	アサーション・トレーニング～自己と他者を大事にするコミュニケーション～
講師	内田 若希 (九州大学)
企画者	メンタルトレーニング研究会
概要	コミュニケーション能力とは、送り手としてメッセージを発信・伝達する能力と、受け手としてメッセージを受信する能力のことである。簡単に言えば、自分の意見や考え方を表現する力と相手の思いや考えを理解する力といえる。スポーツ場面は様々な人間関係で成り立っており、スポーツ選手にとってコミュニケーション能力は重要なスキルのひとつといえる。本セッションでは、相手の経験やバックグラウンドを考慮しながら情報を整理した上で、その場にふさわしい方法で自己表現をする、自分と他者の両方を大切にしたい表現方法であるアサーションについて学んでいく。

②九州地区大学体育連合同企画	
テーマ	大学体育授業における効果的なICTの活用の実際
企画者	九州地区大学体育連合同企画<代表：斉藤 篤司（九州大学）>
講師	田原 亮二（名桜大学）
講師	山崎 将幸（九州大学学術協力研究員）
概要	スポーツ種目を用いた大学体育授業において、自分の動作を「見て、分かって、動く」＝「楽しくなる」ための手段の一つとして、ICTを活用する方法の実際と実践を学ぶ。バドミントンの授業を題材として、iPadを利用したフィードバック用アプリケーションの紹介や、実践を通して授業場面での活用方法を紹介する。

③第3専門分科会企画	
テーマ	身体接触（ソフトタッチとハードタッチ）ゲームを体験しよう！
企画者	第3専門分科会（代表：宮嶋 郁恵）
概要	高柳茂美先生（九州大学）と日高正博先生（宮崎大学）を講師に迎え、身体接触（ハードな接触）ゲームを体験する。

④学生企画委員会企画	
テーマ	スポーツ実技と指導法
企画者	学生企画委員会（代表：林田 賢朗）
概要	実技教材における指導法について実践形式（ゲーム）を通して検討して行く中で、技能修得レベルに応じた指導法や適用ルール等について意見を交わし、「研究とスポーツ実践の融合」を図っていく。